

目指す生徒像「自ら気づき・考え・行動できる生徒」



学校だより

玉村町立南中学校 No.6 平成30年7月10日(火)

金色に輝く麦畑が、田植えが終わった田園風景に変わり、夏到来を感じます。熱中症等の予防に努めながら、夏季休業前の教育活動を充実していきたいと思えます。

さて、先月までに、生徒が自転車で車に接触する事故が発生しています。一時停止等、交通ルールを再確認するとともに、自分で危険を回避する力を付けることが大切です。この交差点では何に気を付ければいいのか、この丁字路ではどこを見て運転すればいいのか等、自分自身で考えて運転することが事故防止につながると思えます。

なお、保護者の皆様におかれましても、学校への送迎時等、生徒の登下校に十分ご留意いただきますよう、よろしくお願いたします。

【修学旅行 ～3年生「京都・奈良方面」～】

6月24日(日)から26日(火)の3日間、3年生が修学旅行に行ってきました。

天候に恵まれ、一日目は奈良方面への学級別研修、二日目は京都市内の班別行動、そして三日目



は京都での学級別見学を行いました。生徒一人一人が役割を分担し、それを責任もって果たすことで、充実した活動ができたとともに、互いの信頼関係が深まるなど、よりよい学級・学年集団づくりにつながったことと思えます。

今回の経験を活かし、最終学年の後半に向けて、一層大きく成長してほしいと思えます。

【尾瀬学校 ～1年生～】

6月28日(木)、1年生が“自然の宝庫”である「尾瀬」に出かけてきました。

群馬県では、群馬の子供たちが一度は尾瀬を訪れ、ガイドを伴った少人数のグループによる質の高い自然体験を通して、身近な自然を守ることの大切さ、ひいては地球の環境を守ることの大切さを学んでもらいたい、さらに、ふるさとを愛する心を育んでもらいたいと願い、尾瀬学校の実施を推進しています(県HPより)。

参加した生徒からは、「自然が多くきれいで楽しかった」「雨が降っていたけれど自然を楽しむことができた」「普段見ることのできない花や鳥などが見れてよかった」「湿原にはたくさんの花が咲いていて、とてもすごかったです」等の感想がありました。



【職場体験学習 ～2年生～】

6月19日（火）～21日（金）の3日間、2年生が職場体験学習を行いました。玉村町内外の53事業所の皆様には、受け入れ等で大変お世話になり、ありがとうございました。

この体験を通して、生徒一人一人が自分の適性や進路について考えたり、働くことの喜びや苦勞、やりがいについて感じ取ったり、自主性・社会性・責任感の育成につなげることができたと思います。



（病院での体験活動）

【少年の主張 ～第14回少年の主張玉村町大会～】

7月6日（金）、町文化センターにて、本校の代表生徒3名が熱意と迫力のある発表を行いました。

自分の体験を基にしなが、自己を真剣に見つめ、あるべき姿を考え、前向きに生き方を考える作品でした。発表も礼儀正しく、好感をもてるものでした。

学校や家庭生活、さらには新聞やテレビのニュース等をきっかけに、様々な問題に関心を持ち、自分はどう考えるか、どうあるべきか、日頃から考える習慣を大切にしてほしいと思います。



- （代表生徒） 1年4組 黒崎 愛香「二つの勇気が笑顔につながる」
2年2組 青木 泰征「君の一步は勇気と自信」
3年3組 梶原 莉子「ありがとう」

【いじめ防止活動の推進 ～6月13日 伊勢崎佐波地区「いじめ防止フォーラム」(於:伊勢崎緋の郷)～】

県内すべての学校で展開している「児童生徒のいじめ防止活動」。その中心となる「伊勢崎・佐波地区いじめ防止フォーラム」に本校から生徒会長の鷲尾君が参加し、「仲間が困っていること、悩んでいることに気付き、仲間同士で支え合うために、私たちにできること」をテーマに話し合いを行いました。参加校の実践例を参考にしながら、いじめのない学校生活を自分たち自身で作っていく取組を充実して行ってほしいと思います。



（小中高生合同の班別協議）

【平成30年度 郡市中体連激励会】



7月3日（火）、中体連総体に向け、南中選手団の士気を高めるとともに、全校生徒で選手団を応援し団結を高めるため、生徒会主催の激励会を行いました。

心身の調子を整え、これまで練習してきた成果を思う存分発揮し、悔いの残らない大会にしてほしいと思います。健闘を期待しています。大会期間は7月7日（土）～23日（月）です。会場や組合せ等の詳細は、伊勢崎市佐波郡中体連ホームページでご確認ください。